

不自由ではあるが不幸ではない

3月9日（金）の保護者は、本年度1年間の取り組みの報告と課題についての話し合いという内容で開催いたしました。できるだけ分かりやすくと思い、皆さんにはあまり見ていただく機会がない映像で紹介する時間も持たせていただきました。

利用者の皆様の表情はいかがだったでしょうか。瞬間をとらえた写真には、なかなか面白いものもあったと思います。

また、会の終わりには感想・意見を寄せていただき、ありがとうございました。特に、野いちごに喜んで来ていただいているという話は、職員には大きな励みとなりました。また、お気づきの点があれば、遠慮なく申し出ていただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

さて、私の手元には、野いちごが所属している「静岡県作業所連合会・わ」の会誌があります。昭和56年の設立から30年が経過し、その記念号となっています。紙面には設立に携わった方々の、熱い思いで綴られた文章があり、感心しながら読ませていただきました。

昭和56年は、西暦で1981年、正に国際障害者年の年に連合会を設立したということになります。連合会のことは知りませんでしたが、国際障害者年はいろいろと印象に残っています。私は、当時盲学校に勤務していましたが、養護学校の義務化から2年目、「インテグレーション」という言葉で、統合教育の是非が盛んに語られました。福祉では、「大規模コロニー（施設）の解体」と「地域に」ということが盛んに言われた時代でした。「完全参加と平等」というテーマは大きすぎて、なかなかとらえられませんでした。しかし、「障害があるということは不自由であるが、不幸ではない」という言葉は、感動をもって聞きました。障害のある人が、こう言い切れる生活をしているということが大変素晴らしく思いました。

あれから30年、制度は整い、恵まれた環境になりました。しかし、「不幸ではない」と言える生き方をしていくためには、私たちの日頃の姿勢や仲間との関係が大きく影響しています。互いに支え合いながら、「不自由なことはあるが、不幸ではない」と言えるような生活をしていきたいものだと思います。

（櫻井 隆）

3月9日保護者会



理事長のあいさつの後、野いちごの1年の振り返りをしました。大震災の後で、急ぎ転倒防止工事を行ったという報告もしました。



写真手前がプロジェクター。行事を中心に撮ってきた写真をスクリーン（壁）に映して見ました。

年度末・年度初め行事予定

3月30日（金）年度納めの会（1年を振り返って・レストランでの食事会）13時30分終了

* 食事代は野いちごの会計から支出します。

4月2日（月）年度始めの会（新しい利用者、職員の歓迎を兼ねて昼食会）通常の日課

* 昼食は野いちごの会計から支出します。